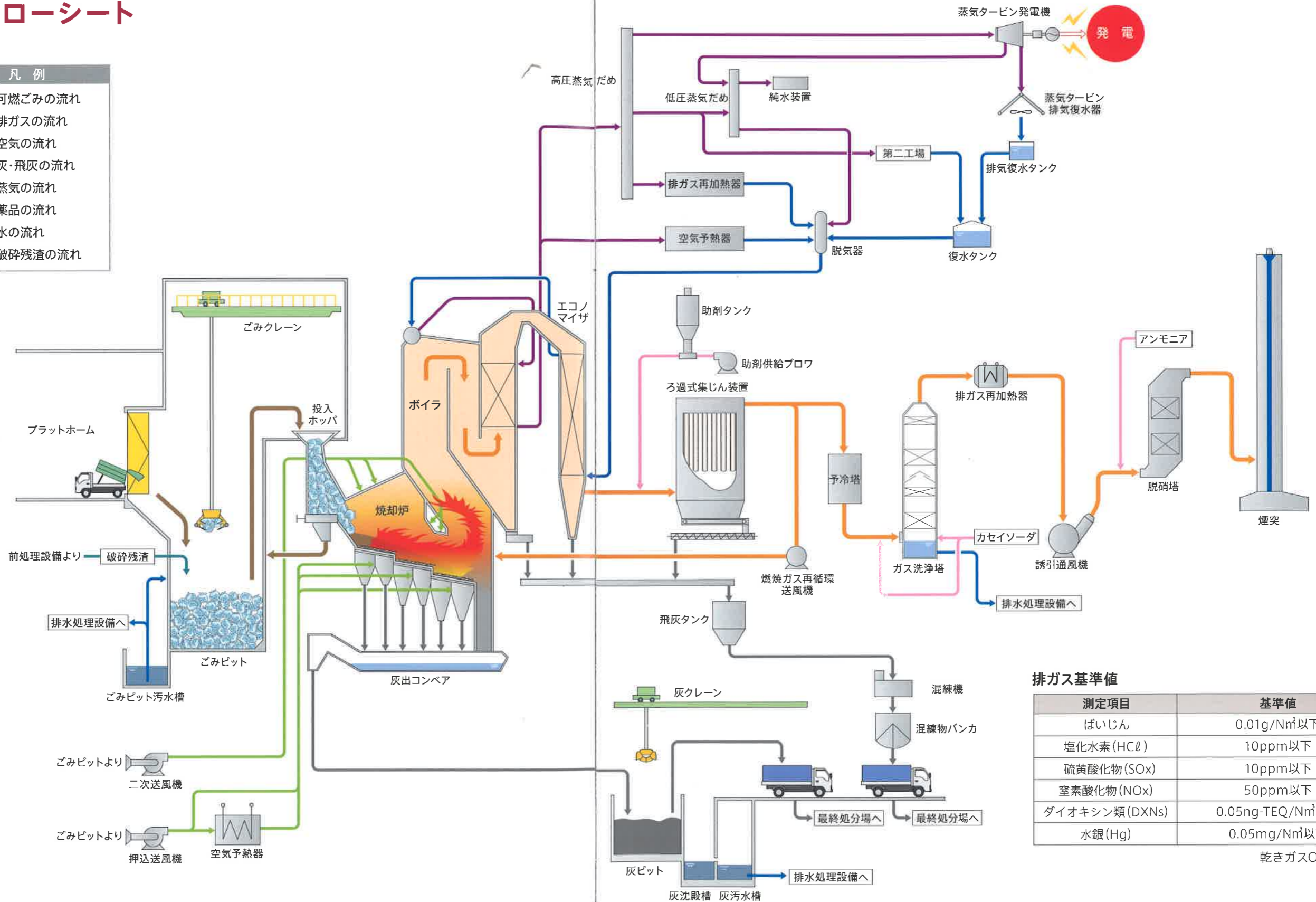


## 処理フローシート

- 凡例
- 可燃ごみの流れ
  - 排ガスの流れ
  - 空気の流れ
  - 灰・飛灰の流れ
  - 蒸気の流れ
  - 薬品の流れ
  - 水の流れ
  - 破碎残渣の流れ



排ガス基準値

測定項目	基準値
ばいじん	0.01g/Nm <sup>3</sup> 以下
塩化水素 (HCl)	10ppm以下
硫黄酸化物 (SOx)	10ppm以下
窒素酸化物 (NOx)	50ppm以下
ダイオキシン類 (DXNs)	0.05ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> 以下
水銀 (Hg)	0.05mg/Nm <sup>3</sup> 以下

乾きガスO<sub>2</sub>12%換算

### 可燃ごみの流れ →

当施設に運ばれた可燃ごみは、計量後、プラットフォームからごみピットに投入されます。ピット内のごみはごみクレーンで攪拌され、ごみ質を均一化した後、投入ホッパから焼却炉内に供給されます。炉内のごみは、ストーカ上を移動しながら燃やされ、灰になります。炉内は850℃以上の高温状態になっているため、ごみは完全燃焼します。

### 排ガスの流れ →

焼却で発生した排ガスをボイラとエコノマイザで冷却した後、ろ過式集じん装置でばいじんを捕集します。その後、ガス洗浄塔で塩化水素、硫黄酸化物を除去します。脱硝塔で窒素酸化物を除去して、クリーンな状態となり、煙突から大気へ放出されます。

### 空気の流れ →

ごみピット内の臭気を含んだ却炉の燃焼用空気と送風機及び二次送り炉内に送られ、完全燃焼されることで臭気が分解されます。

### 灰・飛灰の流れ →

焼却炉で燃やされたごみは焼却灰となり最終処分場へ送られ、埋立処分されます。また、エコノマイザやろ過式集じん装置より排出される飛灰は、飛灰タンクに一時貯留されます。貯留された飛灰は混練機で重金属安定化薬剤処理した後、最終処分場へ送られ、埋立処分されます。

### 蒸気の流れ →

ごみを燃やしたときの熱を利用して蒸気を作ります。ボイラで発生する蒸気は蒸気タービンに送られます。蒸気タービン発電機は最大4,300kWの発電を行う能力があります。作られた電気は施設内で使用し、余剰分を電力会社に売電します。発電に利用された蒸気は水に戻り、再びボイラに供給されます。